



野生鳥獣 被害防止 マニュアル

【鳥 類 編】

鳥による農作物の被害は昭和後期にはスズメの水稻被害が主であったが、その後、加害種はカラス、被害作物は果実が主へと変わり、また近年では新たな被害作物や地域が出るなど常に変化している。

しかし、鳥害対策はここ数十年の間、防鳥網を張り、鳥と作物を遮断することが最も確実な方法であり、現在でもその認識に変わりはない。残念ながら置くだけや鳴らすだけで、鳥を永続的に追い払える機器は未だ開発されていない。一方、警戒心の強いカラスには、テグス等の設置が有効であることがわかり、自動検知やドローンなど新しい機器の利用、また、鳥害対策を最も困難にしている鳥の「慣れ」への対策も始まっている。

本マニュアルは平成20年、29年に発行された「野生鳥獣被害防止マニュアルー鳥類編ー」の改訂版である。一貫して変わらない対策もあるものの、新しい知見をできるだけ追加した。本マニュアルが鳥獣被害対策の最前線に携わる方々に広く活用され、農作物被害のより一層の軽減に繋がることを心から期待している。

令和6年3月

野生鳥獣被害防止マニュアル[鳥類編]

企画編集委員会

第1章 鳥類による被害の現状	1
1-1 データで見る鳥害の現状	2
第2章 被害を及ぼす鳥類	5
2-1 鳥類の被害同定早見表	6
2-2 被害を及ぼす鳥類の生態と被害の特徴	8
2-2-1 カラス類	8
2-2-2 カモ類	12
2-2-3 ヒヨドリ	16
2-2-4 スズメ	19
2-2-5 ムクドリ	22
2-2-6 ハト類	25
2-2-7 カワウ	28
2-2-8 その他(サギ類・ガン類・ハクチョウ類・オオバン・キジ他)	30
第3章 鳥類の被害対策	35
3-1 被害対策の基本的な考え方	36
3-1-1 鳥類の被害対策～獣との違い	36
3-1-2 被害対策の進め方	37
コラム：鳥獣害痕跡図鑑	38
3-2 侵入防止対策	39
3-2-1 物理的に侵入を防ぐ対策	39
1.防鳥網	39
コラム：らくらく設置3.5	40
2.不織布などによる対策	41
3.テグスによる侵入阻害	41
コラム：果樹園のカラス対策「くぐれんテグス君」と「くぐれんテグスちゃん」	42
コラム：テグスとカラス	44
3-2-2 追い払いによる対策	45
1.おどかして追い払う器具	45
コラム：磁石で鳥は追い払えない	47
2.人手による追い払い	47
コラム：効果的な追い払いーサルとカラスで異なる方法ー	48
3-2-3 被害対策における忌避剤(農薬)と忌避資材	49

3-3 生息環境管理	50
3-3-1 鳥類の生息環境管理における前提	50
3-3-2 基本的な考え方	50
3-3-3 具体的な手段(「強弱」を付けるやり方)	51
コラム：カラスの数を増やさないための餌管理	52
3-4 被害軽減のための捕獲	53
3-4-1 鳥類の捕獲の考え方	53
3-4-2 捕獲に関する法律・制度	54
3-5 営農管理(被害を受けにくい作付方法)	56
第4章 被害対策事例	59
4-1 カモ類等によるれんこん食害	60
4-2 カワウを管理する	65
4-3 マガンの代替採食地について(北海道宮島沼の事例)	69

